

第一部 地域まちづくりについて

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(1) 街づくりの活性化について	1	若い世代の子育て支援事業について	<p>① 通称 ぼけっと21(子育て支援センター) 公立幼稚園等の施設を利用した、未就園児のお子さんと保護者がいつでも自由に来室できるフリースペース。情報交換の場の提供、子育てアドバイザーによる育児相談等を実施し、自宅で子育てする保護者の社会的孤立の防止、育児不安の解消を図っている。現在、週5日開催が1か所、週3日開催が6か所の計7か所。</p> <p>② ファミリー・サポート・センター事業 生後3か月から小学6年生の子どもを持つ世帯を対象に、子育て支援ができる人と支援を受けたい人双方を会員とし、相互援助活動という形で組織化したもの。研修を受けた支援会員が、低額の料金で幼稚園の送迎や放課後の一時預かり等を行い、リフレッシュ等様々な子育てニーズに対応している。30年3月末現在で、会員は双方合わせて2,064人、活動実績は5,362件。</p> <p>③ 子育てハンドブック作成事業 安心して楽しく子育てするための情報を効率的に提供するため、妊娠・出産から小学校就学までの一連の子育て支援施策のほか、親子で利用できる公園や公共施設を示した地図等も載せたA5版の冊子を、毎年年度末に発行し、転入した子どもを持つ世帯や妊産婦等に提供している。</p> <p>④ コミュニティ保育推進事業 就園前の子どもを持つ保護者同士でグループをつくり、保育士の助言等を受けながら、児童館や公園で週1～2回保育をしている。子ども同士の関わり合いを広げ、保護者同士の交流や情報交換等を深める場になっている。現在、対象は18グループ。</p> <p>⑤ 小児医療費助成事業費 保険適用の医療費の自己負担分を、小学校6年生までの通院・入院と、中学3年生までの入院に対して助成している。平成29年4月からは、未就学児の所得制限を撤廃し、小学生以上の所得制限を緩和した。</p>	子育て支援課長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(1) 街づくりの活性化について	1	若い世代の子育て支援事業について	<p>① 秦野市における妊娠・出生等の状況(資料配布) 本市では、妊娠届出数、出生数とも減少傾向にあり、29年度は妊娠届出数981件、出生数966件。しかし、母子保健法に基づいて保健指導や育児支援を行う新生児や妊産婦は増加傾向にある。</p> <p>② 妊婦・乳幼児に関する施策 ・生後4か月から3歳6か月までの乳幼児を対象に健康診査を行い、発育発達の確認、疾病(う歯を含む)や障害等の早期発見に努め、個々の成長に応じた健康保持増進のための相談、支援を行っている。1歳児健康診査は医療機関委託の個別方式、その他は集団方式で保健福祉センターにおいて月2回ずつ実施している。また、必要な相談機関との連携や子育てに関する情報提供を行い、育児環境の充実に努めている。 ・妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援となるよう、27年度から保健福祉センター内に子育て世代包括支援センターを設置した。妊産婦及び母親の身体的、精神的負担を軽減することで、児童虐待を未然に防止する。 ・妊婦の健康保持及び健康な赤ちゃんを生み育てるため、妊婦健康診査の1回目に10,000円、2～14回目に各5,000円、計75,000円を助成している。また、妊娠中はホルモンバランスの影響で歯肉炎を起こしやすく胎児への悪影響も考えられることから、本年6月からは、妊婦歯科健康診査も行っている。</p> <p>③ その他の施策 ・特定不妊治療は、神奈川県が実施する支援事業で助成決定された人に、市費で当該治療費の助成を行っている(神奈川県から受けた助成額を控除した額に対して助成)。特定不妊治療及び不育症治療を受けた夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るため費用の1/2を助成している。 ・このほかに「こども若者相談担当」が所管することも相談事業、乳児家庭全戸訪問及び養育支援訪問事業等がある。こども相談事業については、児童相談所をはじめ関係機関、調査機関と連携して、家庭相談員等による支援を行っている。</p> <p>④ 今年度から保健衛生部門と児童福祉部門が同じ課となったことを生かし、専門職による継続性のある支援に努め、最大の目的である児童虐待の防止に努める。産婦のための健診や産後ケアについて検討していきたい。</p>	子育て若者相談課長
	1	空き家対策について	平成16年に空家等対策推進に関する特別措置法が施行されたが、空き家問題は徐々に都市部にも拡大してきている。本市でも昨年度から都市政策課に担当を設置しており、空き家の実態把握調査や所有者への管理指導等を行っている。(配布資料に空き家の現状記載) 空き家には、樹木や雑草の繁茂、害虫、害獣の発生、火災や不審者の侵入、老朽化による倒壊等、様々な危険性があるが、敷地内への立ち入りに所有者の許可が必要なことは、行政の立場でも同様である。地域住民から通報があった管理不全の空き家については、所有者に対し、早急に改善するよう指導している。空家等対策の推進に関する特別措置法では、きわめて状態の悪い空き家について、行政代執行の規定があるが、個人の資産に対して公金を投じることになる場合もあるため、本市では、所有者自身の対応を求める方針である。 一方で、適切に管理された空き家の利活用促進のため、所有者や不動産関係団体等の協力体制を構築していく。また、相続放棄等による管理不全な空き家を発生させないための予防対策も必要と考える。	都市政策課長

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(1) 街づくりの活性化について	<p>① ファミリーサポートセンター事業で、会員数2,064人、活動実績5千いくつという数字はどのようなものか。子育てをする人たちにとって本当に有意義なものになっているのか。</p> <p>② ポケット21が格安の料金と言われたが、若い母親たちから、パートでもらう賃金(時給980円くらい)と比べると自分で家で子育てするのと同じだとの声を聞いた。行政が色々な事業を展開しても、実際に使えないのでは意味がない。具体的に教えて欲しい。改善したものを若い人たちにPRし、転入者が増え、子どもたちが増えるような対策を取って欲しい。</p>	<p>②ポケット21の利用は無料。①ファミリーサポートセンターでは、通常子ども一人を1時間預ける場合700円を支援を受ける方が支援する方に支払っている。この事業は、幼稚園、保育園の送迎や保護者のリフレッシュ等、一時的な支援として位置付けており、パート等の定期的な利用には別のサービスを薦める。また、利用者の収入状況によっては半額サービスもある。</p> <p>会員数についての質問があったが、支援を受ける側と提供する側の両方とも登録制を取っており、実際の支援に当たっては、事前にマッチング(面接)を行い双方の了解を得た上で行っている。またマッチングについては、支援する方の都合もあるのでサブも二人くらい決めている。活動実績は、1回の依頼があったのを1件として数え、事業委託先からの1年間の実績報告の数字。</p>	子育て支援課長
	<p>せっきくの制度なので、若いお父さんお母さんたちの意見を聞いて、改善すべき点は改善して、やって欲しい。</p>	【要望】	
	<p>先ほどは空き家の説明があったが、マンション内でも空き室が出てきており、管理費等の徴収の問題等が出てきている。管理不全については、所有者の意識の低さだけでなく、一人暮らしの方がなくなった場合に親族等に連絡が取れないことがある。このようなときに、市では、私たちが使えるような情報を提供できるのか。</p>	<p>市では、通報を受け、連絡先を探して状況を話すことはするが、個人情報の関係もあるため、連絡先を直接教えることはしていない。市の方から積極的に動いている状態。</p>	都市政策課長
	<p>市から故人の関係者に連絡してもらえらるものと理解する。ありがとうございます。</p>	【意見】	
	<p>空き家の雑草の管理についても対処しているとの話だったが、オレンジヒル内の空き家を通報したが、草が道路に飛び出たまま全く対処されていない。誰がどういう方法で確認して除去するのか説明して欲しい。</p>	<p>具体的な場所を今、確認できないので確実なことは言えないが、通報があったときは、公的手段で分かる範囲で所有者や相続者を確認し、状況を連絡している。まだ対応がなされていないとのことだが、所有者に連絡が付いていない、または、連絡しているが対応いただけていない状況も考えられるので、再度状態を確認する。</p>	都市政策課長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(1) 街づくりの活性化について	1	オレンジヒルのかぶらぎ前の公園の法面にとっても大きなニセアカシアがある。住人が時々伐採しているが、皆高齢になっている。業者の土地だということも聞いたが、木を切ってもらう等の対策を取って欲しい。	オレンジヒルに一部開発した業者の用地があるのは確認しているが、その業者が現在、倒産しており、連絡等ができない状況の中、今の状態になっている。事業を継続した方を探しながら対処していきたい。	建設部長
		探すのは結構だが、木がとて大きく倒伏の危険がある。探してからではなく、探しながら自分たちで手を打つことも考えて欲しい。	承知した。道路に架かっている部分は、周知後に切るようにしているが、他人の所有物を根元から切ることにはできない。	
		他人の所有物なのは分かるが、住民の方に広がったら大変だ。案内するので見に来てほしい。	現地の状況は承知しているが、再度しっかり確認して対処する。	
(2) 教育環境の整備について	2	秦野市における保育関係の現状等	全国的に保育所等への入所希望者が増えており、本市においても、ここ数年は毎年100名を上回る規模で増えている。働く子育て世帯を応援するため、待機児童を生じさせないよう、保育所等の施設整備に努めてきた。国、県の補助を活用しながら民間保育所等の整備を進め、定員の拡大を図った。30年度には26年度に比べて、定員を678名増やし、入所児童数は503名増加した。しかし希望者の急激な増加のため、4月時点で7名の待機児童が生じている。 皆様からいただいた本日のテーマである「駅の近くに保育園の設置」について説明させていただく。資料には27年度以降に新たに開設した園のうち、比較的駅に近い園を太字で表記している。特にベルフラワー保育園は秦野駅北口に隣接するマンションビル2階に、つくし保育園は鶴巻温泉駅南口の広場整備に合わせて建設されたビルの2階に開設された。来年4月には、みなみがおか幼稚園を公私連携幼保連携型認定こども園として、民間事業者により運営を開始し、90名の定員増の予定。 現在、新たな認可保育所等の設置の動きは無いが、今後も保育需要を見ながら施設整備などの定員拡大に努める。 ※資料配布	保育こども園課
	2	教育環境の整備について	教職員の定数は、文部科学省が定める基準に基づき配置されているが、多忙化解消が大きな課題となる中、本市では独自の取り組みを行っている。特に高橋市長の「教育水準の改善向上が重要である」との考えのもと、先生方を補助する教育支援助手63名、個別支援が必要な児童生徒への介助員53名を各小中学校に配置している。 また、地域とともにある学校づくりとして「子どもを育む懇談会事業」やコミュニティ・スクールにも取り組んでいる。特に大根地区では、学生ボランティア以外にも地域の方々による学習支援「ひろはた自習室」や、教科書の購入などにご支援をいただいている。教育委員会としても、ボランティアを育成する学習会への講師派遣や、使用済み教科書の提供等で協力しているが、今後こうした取り組みが市内に広まるよう、「広報はだの」を活用したボランティアバンク等、教育環境の整備に努めている。引き続き皆様のご理解と御協力をいただきたい。	教育指導課

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(3)	介護について	3 自宅から出られない高齢者に対する支援	<p>介護保険サービスとして、①施設に通ってリハビリや食事、入浴等を受ける送迎付きデイサービス②ヘルパー、訪問看護師、リハビリなどの専門職の方に自宅に来てもらい、生活支援、介護、看護、リハビリなどをしてもらうサービス、③施設に短期間宿泊し、介護等のサービスを受けるショートステイサービス等がある。</p> <p>これらを受けるためには、要介護・要支援の認定を受ける必要があり、市役所高齢介護課の窓口で要介護認定の申請を受け付けている。家族が直接来庁できない場合はケアマネジャーや地域高齢者支援センター職員による代行申請も可能で、また認定後に、本人の状態や希望に応じたサービスが利用できるように支援してもらっている。</p> <p>介護保険サービス以外に、給食サービスや緊急通報装置の貸し出し等の福祉サービスがあり、認知症相談や介護者の支援、一人暮らし等の高齢者の登録制度等も行っている。これら事業は「高齢者ガイドブック」や「認知症ガイドブック」にまとめてあり、市役所高齢介護課の窓口や地域高齢者支援センターの職員から入手できる。本日は最新版を持参した。(終了後、希望者に配布)</p> <p>地域高齢者支援センターは、地域ごとに市内7か所ある。大根地域高齢者支援センターは、広畑小学校入口信号そばのぶらっとの2階に事務所がある。高齢者支援センターは高齢者の総合相談窓口で、本人の状態に応じた必要なサービスの紹介や、利用にむけた支援等を行っている。自宅から出られない方には職員が訪問しているので、気軽に相談して欲しい。連絡先は、本日持参したガイドブックや、高齢介護課に問い合わせで欲しい。</p>	高齢介護課長

第二部 市政全般について

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部	市政全般について	4 下大槻団地内のまるだいスーパーが最近閉店したが、高齢者が多く、周辺からの利用者も多く、みんな困っている。早く再開して欲しいが、どのような状況か。	経営者が亡くなって閉店した。年内には新しい事業者が入ると思う。今は、(自治会が)毎週金曜に朝市を開催し、野菜等を売っている。今週は豆腐屋さんも来てくれるとのこと。繋ぎをしながら待っている状況。	下大槻団地自治会長
		5 確定申告の無料相談会が、29年度は大根会場が中止になったのは何故か。 このことを市民税課に質問に行った際、職員の対応が悪かった。「お金が無いからじゃないか。よく分からない」と言葉を濁され、「お待たせしました、すみませんね」「ご苦労様でした。お気をつけて」の言葉もなかった。教育して欲しい。また、市役所全体が暗く活気が無い。このままでは秦野市はダメになる。市長の方針に基づいて職員全体が、市民のために働いて欲しい。職員全体に、いつでも市民に質問されても答えられるようにするのが市の組織だと思うので、十分反省し、改革して欲しい。	<p>市役所が暗いと市全体もダメになってしまうというのは尤もなことで、市役所が明るいということは市民も明るい、それによって市全体も活気が出る。1月31日の市長就任以来見ていると、幸い、市の職員は皆様の期待に応えられるように非常に元気に取り組んでいる。私自身も、市の活性化のために、地域医療充実強化、中学校給食の完全実施、教育水準の改善向上、小田急4駅の賑わい創造、新東名246号バイパスの最大活用が急務の課題と思っている。すぐには解決できない、時間のかかる問題ではあるが、職員は一生懸命やっているので、いずれ華開くと考えている。</p> <p>職員の対応については、一部そのような職員がいたかもしれないが、総じて対応が良くなったようだ。電話でも、課名と名前を名乗ることで信頼関係が生まれると思うので、そのように指導し、やってくれていると思う。しかし完全ということは無いので、もっとしっかり研修をしていきたい。</p>	市長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	5	<p>確定申告の無料相談会が、29年度は大根会場が中止になったのは何故か。</p> <p>このことを市民税課に質問に行った際、職員の対応が悪かった。「お金が無いからじゃないか。よく分からない」と言葉を濁され、「お待たせしました、すみませんね」「ご苦労様でした。お気をつけて」の言葉もなかった。教育して欲しい。また、市役所全体が暗く活気が無い。このままでは秦野市はダメになる。市長の方針に基づいて職員全体が、市民のために働いて欲しい。職員全体に、いっどこで市民に質問されても答えられるようにするのが市の組織だと思うので、十分反省し、改革して欲しい。</p>	<p>(後日回答)</p> <p>① 大根公民館会場取止めについて 税理士による無料申告相談会は、税理士業務を身近に感じてもらい、地域社会に貢献するといったことを目的に、地方税理士会が国からの委託事業として、税務署と共同開催しているもので、市は会場運営に協力している。市内の無料相談会は、従来、文化会館、本町公民館、西公民館及び大根公民館の4施設で実施されていたが、国と税理士会において、e-Tax(いわゆる電子申告)の推進等を理由に、会場を集約、統合していくこととし、平成28年度に西公民館が、平成29年度には大根公民館での実施が取止めとなった経過がある。</p> <p>結果として会場数が減りご不便をおかけすることになったが、開催日数は従来どおりの7日間が確保されおり、ご理解いただきたい。</p> <p>② 市役所窓口における職員の対応について 市民税課窓口における職員の対応で、不快な思いをされたとのことですが、ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ありませんでした。深くお詫び申し上げます。今後はこのようなことのないよう、職員一人ひとりが、窓口業務を再認識し、来庁された方々に親切、丁寧に対応することを心がけるよう努めてまいります。</p>	市民税課
	6	<p>配布資料のまちづくり計画で、「いやしの場づくりへ努力するまち」として公園の樹木剪定、除草、草刈りの29年度実績、30、31、32年度予定に具体的な公園名が載っているが、順番や公園の大きさ等の基準があれば教えて欲しい。</p> <p>自治会内にあるさんのうした西公園を、防災訓練に向けて住民で草刈りを行ったが、将来的には難しく、市でやって欲しい。自治会費で委託する方法も考えられるが、自治会の占有でないものに支出するのも問題がある。予算の都合もあると思うが、よろしくお願ひしたい。</p>	<p>樹木の管理は、市内を6か所に分けて順次やっているが、予算の関係もあり全部はできなく、通報を受けてから行くような状況。公園管理整備員2名が常に市内を回っているが、草刈りについても、通報を受けて行っている状況。また、職員が道路パトロール、公園パトロール、河川パトロール(各週2回、2班体制)の際には必ず公園も見て、必要な場合は公園管理責任者に連絡して、順次刈っている。</p> <p>さんのうした西公園のような街区公園(旧児童公園)は、都市公園法に半径250mに1か所(1000㎡程度)設ける基準があり、大根地区では開発時に造られたものが殆どです。管理は、公園愛護会活動と公園等美化ボランティア活動の、2つのボランティアをお願いしている。公園愛護会活動は、昔から続いていた自治会活動ですが、アダプトプログラムという公園等美化ボランティアを取り入れ、街区公園の管理は地元の皆さんにお願いしている。</p>	建設部長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	7	<p>県道613号曾屋鶴巻線は、全長4km中1kmが歩道未整備で、その内500mが下大槻地区だ。5、6年前の地区懇談会で、平成27年に完成予定と県から聞いてるとの回答だったが、未だ着手されていない。時々国県事業推進課にメールを送るが、回答が他人事で気合が感じられない。あと500mなのだから、もう少し国県が表に出て、情熱を見せて欲しい。</p> <p>鳥居松橋西側から東海大学まではきれいに整備されたが、植え込みが雑草だらけで、毎年二人の女性がきれいにしてくれている。交番や消防署の前もやってくれているが、自分の目の前ぐらいは自分たちでやるように指導してはどうか。行政に関わる人には率先してやってほしい。東海大学北門前もひどい状況だが、学生、学校を指導するのは阿蘇議長の範囲だろう。東海大学は大根地区の顔なので、613号も含め、自分たちできれいにする情熱を持つように、国県が教育して欲しい。</p>	<p>気合を入れてやっていきたい。瓜生野バス停先からオヶ分踏切手前までの整備については、27年度までに「やる」と、確かに県から言われたことがあり、それをそのまま伝えた。国県事業推進課から県にしっかり申し入れており、市長をトップに県の要望にも行っている。平塚土木事務所には、今年度の要望の際に27年度(の完成予定だったこと)という言葉も出した。</p> <p>しかし、県でも予算がこちらに回らず、さなだ幼稚園前の交差点に注力してると言われ、こちらの工事はなかなか進めない。</p> <p>鳥居松橋から東海大学までの雑草を取っていただいていることは、道路管理者の平塚土木事務所にお伝えします。</p>	建設部長
	8	<p>避難所運営の訓練をすると、毎回違っている。担当職員が変わるたびにリセットされるようで、マニュアルが全然完成されない。今災害が起きたら、市はどのような対応をしてくれるのか、何も助けてくれないのではないかと思うような、しっかりしたマニュアルはあるのにそれに従っていない感じだ。市は今後、何をやるうとしているのか。担当が替わるたびにリセットされるような状態をどう感じているのか。</p>	<p>(当日、所管部局の出席が無かったため、政策部長において回答)御指摘のとおり、地区配備隊のメンバーは、人事異動に伴い入れ替えがありますが、全員が替わるわけではなく、避難所の設営や訓練などに支障が生じないように引き継いで行っています。また、マニュアルに基づき、運営所の設営や運営をしっかりやれるようにしておきたいと思っておりますので、御意見の内容については、後日、担当から連絡するようにします。</p>	政策部長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	8	<p>ぜひ連絡いただきたい。実は、今年度の訓練は昨年の訓練からもう少し踏み込んだ内容でやりたいと思い、6月に防災課に行ったところ、「こんなことはやっていない。前回マニュアルと違うことをやっているから、今これをやるのはちょっと…」と言われ、できなかった。このことは、今の回答と若干異なる。内容が繋がっていくのであれば良いが、今災害が起きたら対応はできないと思う。運営委員の70%が揃って活動を開始することになっても、できない気がする。何故それでOKとしているのか、とても不安。最近大きな災害が続いて起きている中で、絶対に起きないと思っているとしか思えないほど、不安を感じる。</p>	<p>質問者の避難所は鶴巻中学校とのことだが、私の避難所、大根小学校は、市内でも見本となるくらい一番進んでいる。今日は校長先生や公民館、避難所運営委員の会長も来ているので、お話してみてもどうか。</p>	まちづくり副会長
		<p>大根小学校がOKで鶴巻がダメというのは、市としてバラバラで、その状況が心配だ。皆が同様になるようにするのが市だが、それが違っているのがおかしいと思う。</p>	<p>災害が発生したときに避難所に避難してくる市民が安心して一次避難できる環境になっていることが当然で、基本的にマニュアルがしっかりできていて、細かいところはそれぞれの対応があるにせよ、同じ形でやっていると思う。その辺は先ほど政策部長が答えたが、状況をよく確認させてほしいので、後日ご連絡します。</p>	市長
			<p>(後日回答)地区配備隊(広域避難場所従事職員)については、退職及び人事異動の関係から多少の入れ替えが生じてしまいます。 しかし、職員の入れ替えに伴う不備や混乱があっては円滑な避難所運営に支障をきたしてしまいますので、今後、地区配備隊への指導を徹底し、不備等が無いようにしてまいります。 また、防災課職員の対応において、災害時の対応に不安を感じたとのことですが、訓練内容については避難所運営委員会がメインの訓練ですので、避難所運営委員会の意見をできる限り採用したいと思います。 避難所運営については、懇談会当日に市長も回答したとおり、市内で統一したマニュアルに基づいて行うこととしていますが、マニュアルの運用においては、避難所ごとに決定していただきたいと考えています。</p>	防災課

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	9	オレンジヒルに住んで30年になるが、会館前の道路の歩道が途中まで舗装され、その先は30年放置されている。中央公園周辺はいつも綺麗で、バラ園が作られたり色々とうかかけられているが、末端には手が回っていない。広畑ふれあいプラザのマッサージ機や団欒室のポータブルも、寄贈されたもので遣り繰りしている。このような状況を見て欲しい。	【要望】	
	10	秦野市周辺には新しい墓地がどんどんできていくが、買えない人たちがたくさんいる。横須賀市では無縁仏があると聞いた。秦野市として大きな墓地を作り誰でも受け入れるようにすれば、安心して死んで行ける。横須賀市のように秦野市でも計画して欲しい。	【要望】	
	11	先日配られた洪水ハザードマップはA3版片面で、サイズも小さく、被害想定区域の色分けも判別しにくい。連合会に加入している自治会名しか記載されていないが、目印になる建物等も必要に応じて載せるべきだ。高齢者が多いので、見やすい、目的にかなった印刷をして欲しい。また、配布依頼文に「(自治会)会員に配ってください」とあったが、災害には自治会の加入は関係ないと思う。	【要望】	
	12	市長の選挙公約にもあった秦野赤十字病院の分娩業務再開に向けた支援は、現在のよう状況か。	医師不足の状況の中、まず大学の医局と話しをして顔の見える関係をしっかり作り、同時に、日赤秦野病院の幹部と市の幹部が意見交換をしっかりと、いろいろな大学の医局の中から、医師の派遣の可能性を探っているところ。まだ皆さんに報告できる状態ではないが、しっかり取り組んでいる。	市長
	13	以前、この市政懇談会で発言したが、議事録がホームページにアップされるのが遅かった。何日程度でアップされるものなのか教えて欲しい。	議事録(質疑応答一覧)は、確かに今年度、年度を越してHPにアップしている状況なので改善したい。地区別懇談会は8月から11月まで続いているが、すべて終了後に各課の回答や、提案、要望をフィードバックし、確認して一覧を作成していた。今年度は終わった地区から、スピードアップしてHPに載せていきたい。	市民活動支援課長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	14	おおね川の旧ダイエー脇の異臭は随分改善されたようだが、時々臭いが上がってくる。おおね川流域の公共下水道の整備率と水洗トイレ率はどのようか。	平成28年3月の状況では、全体計画区域に対する大根鶴巻地区の整備率は93.9%（秦野市全体では92.7%）、大根鶴巻地区の水洗化率は84.7%（秦野市全体では90.1%）です。 （なお、30年3月の状況では、全体計画区域に対する大根鶴巻地区の整備率は95.1%（秦野市全体では94.4%）、大根鶴巻地区の水洗化率は83.8%（秦野市全体では89.7%）です。）	政策部長
			当該の場所には水田用の堰があり、水利権の関係から無くすことはできない。現在は蛇籠（鉄筋の網）のため土が堆積し、見た目も悪く臭いも発生している。また、大雨時には氾濫の危険もあり、平塚土木でも気にしている。なだらかにすることを検討中で、浚渫（しゅんせつ）すると言っている。	建設部長
		流域の整備率が93.9%に対し水洗化率が84%では10%近いかい離があり、数千人のお宅が、整備されているのに水洗化していないことになる。これは法律違反だ。整備には我々の高額な税金が費やされているのに、個人の思惑で水洗化しないのは納得できない。水洗化を進めるよう、市でももっと努力して欲しい。	【要望】	
	15	うちの裏から大山に向かう登山道で、善波峠付近（秦野市域）に産業廃棄物の不法投棄がある。数年前に環境課に電話したら市でも把握しているとのことだったが、全く対応されていない。ゴミは増えているように感じるが、どのようにお考えか。	この件は、今日、市役所HPの問合せメールが広報課から私に転送されている。環境資源対策課に確認したが、詳しい職員が今日は不在で、十分な回答が用意できなかった。環境資源対策課は一般廃棄物の担当で、産業廃棄物は県の担当であり、具体的な部署を調べたが、今日のメールだったので間に合わなかった。また、この件については開発建築指導課にも問い合わせがあったり、登山道整備の関係で観光課など色々な部局が関係している。私が窓口になって整理し、しかるべき部署から回答するようにする。 (後日回答) 当該場所の廃棄物と言われているものは、所有者が分かっており、所有権を主張されている。また、数年前から開発建築指導課が定期的にパトロールしている旨を説明。	市民活動支援課長 環境資源対策課
16	東海大学前駅横の踏切は、国交省のHPでも危険な踏切として指摘されている。いつも渋滞で事故も多い所なので、この踏切の改良についての考えを教えて欲しい。	東海大学前1号踏切は、平成21年に一度拡幅改良が済んでいるが、平成29年1月に改正踏切道改良促進法に基づき、新たに法指定され「危険な踏切」になった。 歩行者のボトルネックになっており、冒頭に市長も話した通り、北口にエレベーターとエスカレーターの設置など、踏切に人が集中しなくなる方法を検討している。 しかし、大きな擁壁があり、エレベーター、エスカレーター設置の可否について、設計委託を今年度行っている。	建設部長	
17	おおね台団地は開発から50年経ち、公園の樹木が枯れてしまっている。市で補植してもらえるか。	基本的に、枯れている木は補植する考えだが、昭和55年代に造られた公園は樹木が多く、逆に間引きが必要な状況になっている。現地を確認して対処したい。	建設部長	